

区分	臨床・専門分野	授業科目名	血液検査学実習		単位数	1
対象学年	2年生	開講時期	前期・後期・通年		講義形態	講義・実習
担当教員名	今村 文章	実務経験	有・無	実務経験内容	三菱鉱業端島鉱病院検査部に5年、健康保険諫早総合病院に34年(計39年臨床検査技師として勤務)。その間、日臨技血液検査研究班班長などを歴任、平成15年には認定血液検査技師となる。	
授業の目的・目標				成績評価の方法		
止血、凝固、線溶等について臨床検査技師として必要な臨床的意義等を踏まえ、各項目について実習し、疾患との関連を明確にする。				出欠状況、授業態度は勿論であるが、質問に対する回答能力も評価したい。最終的には試験での評価とする。		
授業の概要・授業方針				テキスト・参考資料等		
各項目について、基礎的な用手法による検査で、試薬の特性や原理等を中心に実習する。				教科書(医歯薬出版社)の血液検査学を中心に、試薬等の添付書などを使用。		
授業計画					講師	
後 期						
第 1講	止血・凝固・線溶	講義と実習: 出血時間・毛細血管抵抗試験(陰圧法・用圧法)			今村 文章	
第 2講	凝固時間: 基礎	全血凝固時間、Ca再加時間			今村 文章	
第 3講	凝固時間: 外因系	PT(プロトロンビン時間)			今村 文章	
第 4講	凝固時間: 内因系	APTT(活性化部分トロンボプラステン時間)			今村 文章	
第 5講	凝固時間: 複合因子	TT(オーレンのトロンボテスト)			今村 文章	
第 6講	凝固時間: 第3相	フィブリノゲン(トロンビン法)			今村 文章	
第 7講	クロスミキシング試験	血友病抗体など			今村 文章	
第 8講	凝固阻止機構・線溶機構・繊維素溶解現象	アンチトロンビン・プラスミノゲン			今村 文章	
第 9講	線溶機構・繊維素溶解現象	FDP・D-Dダイマー			今村 文章	
第10講	予備					